

令和元年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	男女共同参画推進に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	2	1	9	
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	143男女共同参画社会づくり	担当課室長	小林 由里			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	男女共同参画社会を推進するため、表現ガイドの修正を行う。	③令和元年度に取組む改革・改善内容	庁内において、表現ガイドの認知度及び活用頻度が低いため、更なる周知を行い活用頻度の向上を図る。また次期推進計画策定に伴い、男女共同参画アンケートを実施する。
②①に基づく取組み結果	古い表現を見直すとともに、LGBT等の説明を新たに追加した。また、イラストなどを用いて分かりやすい表現の工夫を施した。平成31年3月20日付け、改訂版を庁内に通知した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	庁内各課	意図(対象をどうするのか)	職場や家庭、地域等様々な場での女性参画の推進を図る。
②事務事業の概要	男女共同参画推進を図るため、男女共同参画推進計画に基づく各施策を実施し、その進行管理を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	全国的に人口減少している中で、家庭や職場、地域等あらゆる分野において男女が支え合いながら能力を發揮していく男女共同参加社会形成のため、全庁的に取り組む事業と考えられる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成30年度の事業の成果	男女共同参画推進計画の各事業について、関係各課と共同で取り組んだ。						
②成果を表す指標	指標名称		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠
	i	審議会等女性委員の割合	28.3	28.3	26.5	%	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成29年度決算	平成30年度決算	平成30年度決算(事業費)の主な内訳		令和元年度予算		
事業費(千円)	2,604	2,606	金額(千円)	内容	5,335		
国支出金(千円)			2,464	臨時職員賃金			
県支出金(千円)			129	懇話会委員報償			
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	2,604	2,606			5,335		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	男女共同参画推進計画に基づき、事業を実施しているが、今後も男女共同参画意識の醸成を図る必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	令和2年度より次期男女共同参画推進計画の策定を行うにあたり、その準備のために委員会及びアンケート調査等を実施するための予算を計上した。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成30年度の計画	平成30年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H29からの繰越
		H29⇒30繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由		流用・充当			
		令和元年度への繰越額(単位:千円)			

令和元年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	男女共同参画推進センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	2	1	9	
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	143男女共同参画社会づくり	担当課室長	小林 由里			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	事業の実施にあたっては、民間スキルを活用し、市民ニーズに合わせた事業を実施する。また、女性のための相談、DV相談に対応するため、庁内の連携を図る。	③令和元年度に取り組む改革・改善内容	情報誌の発行回数見直しや内容等について、令和2年度から改定できるように、そのための検討・準備等を進める。
②①に基づく取り組み結果	民間スキルを活かした事業を実施し、充実した研修を市民の皆様へ提供できた。また、DV相談等関係各課と連携しながら対応した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民・職員・事業所	意図(対象をどうするのか)	セミナーの実施や情報誌の配布により、男女共同参画意識の醸成を図る。
②事務事業の概要	男女共同参画推進センターの運営、男女共同参画推進を図るための講座や啓発事業を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市民ニーズが多様化していることから、事業の企画立案にあたってはニーズに対応し、ターゲットを絞った事業の実施が必要である。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成30年度の事業の成果	男女共同参画の推進を図るための講座や啓発事業を実施し、男女共同参画意識の醸成を図った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠
	i	男女共同参画週間事業	353	237	130	人	業務取得
	ii	情報紙の発行	4	4	4	回	業務取得
iii							
③事務事業のコスト	平成29年度決算	平成30年度決算	平成30年度決算(事業費)の主な内訳		令和元年度予算		
事業費(千円)	8,854	7,644	金額(千円)	内容		8,140	
国支出金(千円)			1,406	プロジェクトマネージャー報酬			
県支出金(千円)			2,793	非常勤職員賃金			
市債その他(千円)			2,179	委託料			
一般財源(千円)	8,854	7,644				8,140	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	男女共同参画を推進するため、講座や啓発事業の充実を図るとともに、ウェブページ及び広報誌等を活用し積極的なPRに努める必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	2普通	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	各事業の参加状況やアンケート結果を踏まえ、課題を精査し次年度以降に活かしていく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成30年度の計画	平成30年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H29からの繰越
		H29→30繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由			流用・充当		
	令和元年度への繰越額(単位:千円)				